



小川第2保育園



リヴレット



TSUTAYA那珂川店

地域のみなのかかわりを主とした社会体験学習を通して、将来に向けた自らの職業について考えてもらおうと馬頭中学校と小川中学校の生徒が11月10日から14日までの5日間、「マイ・チャレンジ」を実施しました。

この体験学習は、ともに生きる力や感謝の心を育み、自己の在り方を見つめてもらおうと毎年行われているもので、生徒たちが町内の各事業所に出向き、職場体験をするものです。

今年度は、中学2年生197名が67事業所で体験学習しました。

マイ・チャレンジ



東洋エレメント



藤田製陶所



馬頭小学校



まほろばの湯



いわむらかずお絵本の丘美術館



豊田眞望子さん
関 陽香さん

全国日本卓球選手権大会へ出場

全日本選手権（カデットの部）栃木県予選卓球大会が7月31日、8月1日の2日間、清原体育館で開催され、小川中から参加した2年の豊田眞望子さん（小川）、ダブルスで1年の関陽香さん（小川）がともに第3位となり、全国大会への切符を手に入れました。



激励金を手に笑顔を見せる
関さんと豊田さん（左から）

豊田さんは14歳以下女子シングルの部の準々決勝で間宵千紘選手（益子町）を3対2で下し準決勝に進むと、強豪苅部未来選手（鹿沼東）と対戦し、惜しくも3対0で負けてしまいました。3位決定戦では吉原咲登美選手（鹿沼東）を3対2で倒し、県大会第3位を手中に収めました。

一方、関さんは女子ダブルスの部で尾島奏穂さん（茂木町）と組み、準々決勝で落合・永田組（鹿沼東・華卓会）を3対1で下すと、準決勝では強豪の吉原・苅部組（鹿沼東）と対戦し、3対1で惜しくも負けてしまいました。

3位決定戦では黒須・石川組（市貝・益子Jr）に3対1でみごと勝利しました。豊田さんは418人が出場した中で第3位、関さんも385チーム出場中第3位となり、11月22日から24日の3日間、宮崎県で行われたJOCジュニアオリンピックカップ2008全日本卓球選手権大会（カデットの部）に出場しました。

町長室で

全国大会出場激励会

11月17日、全日本卓球選手権大会の会場に先立ち、豊田眞望子さんと関陽香さんが町長室を訪れました。

川崎和郎町長は、「最近のわが町の中学生の活躍は、野球や水泳を含め目覚ましいものがあります。普段の練習の成果を遺憾なく発揮し、那珂川町の名声を全国に博してほしい」。桑野正光教育長からは「全国ランキング入りし、オリンピックにも出られるように頑張ってください」とあいさつがありました。

二人は、「一球一球集中し、落ちていて試合に望み、ひとつでも多く勝てるよう頑張ります」と意気込みを語りました。



高瀬みなみさんが

県中学英語スピーチコンテストで最優秀賞受賞

第18回県中学校英語スピーチコンテストが11月14日、県総合教育センターで開催され、小川中2年の高瀬みなみさん（谷田）が最優秀賞に輝きました。

高瀬さんは夏休みなど毎日約3カ月間、原稿づくりや発音の練習に取り組みました。自分の夢でもある児童擁護施設の先生になったら子どもたちに、「一人じゃない」ということを伝えていきたいという内容で、発表当日は「内容が相手にわかるようしっかり伝え、自然な発音を心掛けましたが、まさか最優秀賞を取れるとは思いませんでした」と話していました。



県北中学野球大会で

小川中が優勝

矢板運動公園と塩谷町運動公園で10月26日と11月2日に開催された第23回県北中学野球大会で、小川中野球部が優勝しました。

小川中は初戦からストレイト勝ちし、準決勝の矢板中を4対2で下すと、決勝では喜連川中を7対0と圧倒的な強さで倒し、優勝を飾りました。

